

● Aちゃん 5年生 お母様より

海に行って砂遊びしたり、波にキヤーキヤー言ってさわいだり、魚の泳ぐ姿をじかに見たり、福島では、なかなかできない事もさせて頂いて感動しました。これからいろいろなことに自分や友だちと試行錯誤しながら大きくなってほしいと思います。

この経験は、宝になると思います。また、いろんな国、人とつながって欲しいと思います。

● B君 5年生 お母様より

B本人に対して不安でいっぱいでした!!でも日に日にBが友だちと遊んでいる笑顔が見れて安心しました。ここでBは第一歩大人になるんだな—と思いながら出発前は見送りで涙が止まりませんでした。このオルトに参加して本当良かった!!!と思っております。私たち、家族も強くなりました。

● C君 3年生 お母様より

イタリアでの思い出、アメデオさんの事、ステファノさんの事をたくさん話してくれます。Cは、4歳になる少し前に被災しました。私たち家族は、平成23年3月16日に富岡町(福島第一原発と福島第二原発の間の町)に購入した家に、引っ越し寸前で被災しました。

当時は、住民票が富岡町に無いということで、賠償の対象にならず、夫は原発作業員、アパートの家賃、購入した家の住宅ローン、私のおなかには三男が、七カ月で妊娠中で、不安な日々を過ごしておりました。

相馬市の生活も、放射能が気になり、外での遊びなどは一切させませんでした。そのせいか、Cは積極的に外に出なくなり、肥満気味になってしまいました。もっと体を使って遊んで、楽しさを知って欲しいと、今回のサマーステイに参加させて頂きました。

今後、Cが日本での生活で、イタリアで学んだこと、感じた事を、惜しみなく発揮してくれることを信じたいと思います。

● D君 12歳 お母様より

以前より、強く優しくなりました。出発前は、トラブルに関して面倒な事や人に対してズルをすることが一番だと思っていたのですが、オルトスタッフの皆さん、イタリアで初めて出会う、数多くの住民の皆さんに親切にされて考えが変わったようです。

一ヶ月のステイは長いかなと思いましたが、子どもが自分の状況を理解し集団生活に慣れ、より良い集団生活に進めていき、そして余裕が出て楽しむまでには必要なのだと思いました。子どもはもちろん親の気持ちも日を追うにつれて変化していくのを実感しました。一ヶ月ステイの貴重な体験で子ども親も心身の保養だけでなく、数多くのものをいただきました。

本当にありがとうございました。